

## 幼稚園・保育園による「子ども主体の協同的な学びプロジェクト」

## 合同発表会

## - アンケート集計結果 -

## 性別 (人)

男性	18
女性	110
無回答	13
合計	141

## 年齢 (人)

10代	0
20代	41
30代	12
40代	29
50代	28
60代	2
70歳以上	0
無回答	29

## 子どもの年齢 (人)

0～9歳	21
10～19歳	27
20～29歳	14
30歳以上	1
無回答	105

## 居住地 (人)

墨田区	50
墨田区外	51
無回答	40

## (1) 4園による取組発表について

(人)

たいへんよく理解できた	63
よく理解できた	70
普通	5
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	3

- ・どの園もすばらしい発表だった。
- ・さまざまな園の取り組み、事例が聞けてすごく楽しかった。
- ・それぞれの園のようすが伝わった。4園（公私幼保）ということに大きな意味があった。
- ・なぜあづま幼稚園は4歳児なのか知りたかった。
- ・園によって理解できたところとあまり理解できなかったところといろいろだった。
- ・ありのままになれる保育者はすてき。きっといろんな悩みや苦しみもあったことと思うが、それがすべての協同的な学びプロジェクトにつながっていることと感じた。
- ・育てる側の保育士ではあるが、“プロジェクト”でさまざまな専門家から“見られている”“それがいいんだ”と言ってもらえることで、自分も振り返られる。「育ちあえる」ことに気づけたように感じた。
- ・ポストイットを使った方法について聞きたいと思った。
- ・発表内容を踏まえた上で、協同するとはどういうことか、そのための指導のポイントは何かを、改めて学びまとめられるとよいと思う。
- ・保育の質の向上の為に様々な取り組みをされていることに興味深く聞かせてもらった。日々の保育の参考にもなった。
- ・もっと継続してこの内容で勉強していきたいと思う。
- ・テーマを聞くともっと難しいことなのかなと思っていたが、とても楽しい時間だった。次回は、聞きたくなるようなわくわくするテーマ名で……。子どもも保育士もわくわくするような保育の内容を、また聞いてみたい！

## (2) パネルディスカッションについて

(人)

たいへんよく理解できた	52
よく理解できた	65
普通	8
あまり理解できなかった	2
理解できなかった	0
無回答	14

- ・もっと時間がほしかった。
- ・大学の講師の先生の話聞きたかった。
- ・会場の参会者も一緒に、主体的に共有できたのがよかった。
- ・時間も短く、質疑応答形式だったので、もう少し大学の先生方の話が聞けるとよかった。
- ・育てたい姿、幼児に経験させたいこと、という視点からはゴールはあるのではと思う。見える、聞く、可視化の大切さを感じた。

### 3 今後、子育て施策に関する講演会やシンポジウムで聞いてみたいテーマ等

#### (1) 発表会に関する意見

- ・また参加したい。 2名
  - ・また参加したい。 2名
  - ・今後ともさらにこのプロジェクトを続けて行ってほしい。 4名
  - ・とても良い話が聞けた。毎年この取り組みを行ってほしいと思った！本当にすてきだった。
  - ・同じテーマでもう1度他の園の様子を見てみたい。
  - ・もっと掘り下げていろいろな人(先生)の話を聞いてみたい。
  - ・幼保一緒に取り組み、学ぶ場があるのはよいと思う。
  - ・このような企画に保護者が参与する場は作れないものだろうか。
  - ・子育てに係る人たちだけでなく、広くいろんな世代、いろんな方が見に来れるようにしたらよいと思う。子どもに興味をもつことができるテーマで。
  - ・今回のようなプロジェクトはとても勉強になった。
  - ・子ども主体の協同的な学びについて、またとりあげてほしい。
  - ・他園の先生たちと日常の保育、子どもの様子について対話してみたい。ポストイットで問題・課題・発展を明確化していく。
  - ・公立保育園、私立保育園、公立幼稚園、私立幼稚園という、それぞれの立場から1つのテーマにアプローチする取り組みは、非常に保育全体の質の向上につながると感じた。自分たちの“当たり前”と思っていた園の文化や手法に気づき、そこから変化が起こると思う。参考にしたい。
  - ・幼児期のこのような研究発表が小学校 中学校 高校 大学 成人へ、人として生きていく上で、協同的に学びつづけることができると良いなと思った。
  - ・気軽に書く付箋 まき込む だめから見守りへ 真似から自由の発想で制作させた
- すべての団体で同じ取り組みをやることは大事。すばらしいこと。先生が意欲をもってやっているような団体を応援する。墨田区はいい教育がこれからできそう。幼児期に気持ちの表現が出せずに過ごす成長を期待できない。
- ・保育園、幼稚園の真の役割について学びたい。墨田区ひきふね保育園主任ですが、来年度ぜひ公開保育やりたい。
  - ・各園(幼保)は地域との協同をどのように考えるか~具体的な取り組み事例はあるか。

#### (2) テーマについて

- ・保育の質の向上について。 2名
- ・遊び、保育士の質を向上させるために。
- ・保育園、幼稚園と保護者の子育てにおける共育について。
- ・保育園がおかれている状況。
- ・発達支援児について。
- ・子どもの主体性について。

- ・ 0～2 歳児の保育（小規模）
- ・ 幼保小中の連携
- ・ 地域に根ざした保育。
- ・ 子ども・子育て新制度について（新しく決まったことに対して）。
- ・ 食育などの子どもの生活習慣。
- ・ 障害児における連携。
- ・ 保護者支援について。
- ・ 母親への支援。
- ・ 子どもについての主体的な遊び。
- ・ 乳児の主体性を大切にする保育とは。
- ・ ごっこ遊び。 劇遊び。
- ・ 子どもの心の育て方。
- ・ 0 歳児からの保育について。
- ・ 0～2 歳児の保育（小規模）
- ・ 幼保小中の連携。
- ・ 子ども園の推進。園間の交流について。
- ・ 新制度について。スポーツや身体機能について。気になる子の保育について。
- ・ 子ども一人ひとりを大切にする、子どもの目線に立って、とかについて。
- ・ 保護者の参画を促す取り組み。
- ・ 子どもにとって遊びの重要性や、今求められる保育の内容を保護者向けにした子育て施策に関する講演が聞きたい。
- ・ 保護者、地域に、いかに保育園を「可視化」していけばよいのか。
- ・ 公教育の必要性。法律と保育（今後の保育）。外国の保育。保育を地域に開くにはどうしたらよいか。
- ・ いろいろな園での取り組みが知りたい。保護者対応なども興味がある。
- ・ 子どもを人として見る。ドイツでは“小さい大人”と解釈して対応している。悩んでいる先生を助けるような（自分の保育を比較しないで楽しめるようになるような）講演会を希望する。
- ・ 子どもたちのエピソードから見えてくる保育のあり方、大人の接し方。
- ・ 新制度により、保育に対する意識を変えざるを得なくなっていると思うが、スキルアップすることと同時に保護者に対する対応を、保育を共にする大人同士のあり方など聞きたいと思う。

#### 4 墨田区の子育て施策に関する主な意見や要望等

- ・第3子以降の手当、保育料など3人同時在籍でなくてもいいのでは。
- ・墨田区で子どもを3人育てている。ぜひ育てやすい区にしてほしい。
- ・地域で子どもの育ちを見守っていく為に区で作られる「子ども食堂」への取り組みが始まる等、見えない貧困対策に力を入れてほしい。
- ・公園の整備をもっとしてほしい。
- ・公園にゴミがたくさん落ちている。掃除してほしい。台東区側のすみだ公園はよく掃除されていてきれい。
- ・公立保育園の民営化は考え直してほしい。
- ・地域に園が根づいている（根づいていく）ということが、どれだけ財産になるかということも改めて大事なことと感じた。
- ・先進国の中で日本は子育て、子どもに対する予算が極めて少ないという現実には大きな衝撃を受けた。墨田区が子どものためにたくさんの予算をかける先駆的な存在になってほしいと思う。子どもへの投資は未来の社会への投資ではないだろうか。
- ・現場の意見も取り入れながら、トップダウンでなくすすめてほしい。
- ・公的保育を守ってほしい。質の担保となっていると思うので。民営化が進むと質の保障ができなくなる。株式会社は絶対にやめてほしい。今でも先進国の中で子どもにまつわる費用が最下位とのことなので、なおさらそう思う。
- ・保育を開く～こういう取り組みをしていくためにはもっとゆとりが必要。基幹園構想はやめてほしい。
- ・公立保育園の民営化は見直してほしい。預けることができても人員が不十分であったり、職員のレベルが下がってしまう状況では、安心して預けられない。保育料のシステムも複雑かつ値上がりしていて負担である。
- ・今回の発表会で、子どもの主体性が生活においていかに大切かということを感じたが、今後墨田区が示している整備指針では、これが保育の中で実践できないと思う。指針を考え直してほしい。「保育」のことを理解していない人が方向性を示すのはおかしい。お金を削るのはこの分野ではない
- ・公立保育園を基幹園10園にしていく内容、短時間・長時間保育のしくみなど詳しく話してほしい。
- ・公立、私立、保育園、幼稚園の繋がりがもっともっと深く進んでいくといいなと思った。この繋がりを保護者にも伝えていきたいと思った。
- ・公立の数を減らし民営化する事で、区として保育の質をどう保っていくのか？私立は経営も入れていくなかには、預かりメインの所も多くなっているのが心配。
- ・保育活動と地域とのかかわり。子育てをしているお母さんお父さん方と地域とのかかわりがもっともっと増えていくような機会がほしい。

・私は千葉県の保育園で園長をしている。墨田区に本社があるので（株式）、墨田区を身近に感じ、日々墨田区から刺激を受け、自分の保育園のある市の発展に努めていこうと思っている。今回とても勉強になった。

・一人ひとりを大事にすることを願っている。それには人の配置も重要だと思う。

・墨田区で公私保幼が一体となってとてもすばらしい取り組みをされていると思う。